

令和5年度

七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び

執行状況に関する点検・評価

(令和4年度実施事業)

## 令和4年度 教育委員会会議の開催状況

会議については、原則として毎月1回、教育委員会定例会を開催し必要に応じて臨時会を開催した。会議の内容等は次のとおりである。

招集日	定例・臨時	議案等の内容
令和4年 4月26日	第4回 定例会	報告第 6号 一般事務報告について
5月27日	第5回 定例会	報告第 7号 一般事務報告について
6月21日	第6回 定例会	報告第 8号 一般事務報告について 報告第 9号 専決事務報告について 令和4年度教育費関係補正予算について(一般会計補正第1号) 報告第10号 専決事務報告について 令和5年度使用教科用図書採択基準について 議案第 7号 令和4年度七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価について
7月21日	第7回 定例会	報告第11号 一般事務報告について 報告第12号 専決事務報告について 令和5年度使用教科用図書採択基準に関する資料について 議案第 8号 令和5年度使用教科用図書の採択について
8月30日	第8回 定例会	報告第13号 一般事務報告について 報告第14号 専決事務報告について 令和4年度教育費関係補正予算について(一般会計補正第3号)
9月27日	第9回 定例会	報告第15号 一般事務報告について 議案第 9号 令和4年度教育関係功労者、功績者表彰について
10月25日	第10回 定例会	報告第16号 一般事務報告について 議案第10号 令和4年度特別支援教育を必要とする児童・生徒について 議案第11号 令和4年度学校給食費について
11月24日	第11回 定例会	報告第17号 一般事務報告について 議案第12号 令和4年度七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価について
12月21日	第12回 定例会	報告第18号 一般事務報告について 報告第19号 専決事務報告について 令和4年度教育費関係補正予算について(一般会計補正第6号) 議案第13号 令和5年度特別支援教育を必要とする児童・生徒について 議案第14号 令和5年度学校給食費について
令和5年	第1回	報告第1号 一般事務報告について

1月26日	定例会	議案第 1号 令和5年度七ヶ宿町教育基本方針（案）について
2月14日	第2回 定例会	報告第 2号 一般事務報告について 議案第 2号 県費負担教職員の任免等の内申について
3月24日	第3回 定例会	報告第 3号 一般事務報告について 報告第 4号 専決事務報告について 令和4年度教育費関係補正予算について（一般会計補正第7号） 令和5年度教育費関係予算について 報告第 5号 専決事務報告について 七ヶ宿町民プール条例の廃止について 議案第 3号 七ヶ宿町社会教育委員の人事について 議案第 4号 七ヶ宿町スポーツ推進委員の人事について 議案第 5号 教育委員会事務局職員の人事について 議案第 6号 町民プール管理規則を廃止する規則について 議案第 7号 七ヶ宿町教育委員会処務規程の一部を改正する規程について

七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価の方針について

## 1 趣旨

- (1) 七ヶ宿町教育委員会は、七ヶ宿町の教育基本方針に基づく具体的施策や年度ごとの優先 事項の実施状況について点検及び評価を行い、課題や今後の改善方針を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図る。
- (2) 点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対し説明し、信頼される教育行政の推進に努める。

## 2 実施方法

- (1) 教育基本法に基づく、具体的な施策や優先事項を対象として点検及び評価を実施する。
- (2) 点検及び評価については、施策及び事業の総括を行うとともに、課題や改善策等を明確にする。
- (3) 点検及び評価については毎年1回実施する。
- (4) 点検及び評価については、学識経験者等の意見を聴取したうえで教育委員会がまとめる。
- (5) 点検及び評価に関する報告書を作成し、町議会に提出するとともに町民に公表する。

## 点 検 ・ 評 価 の 構 成

### 1 点検・評価項目

#### (1) 教育委員会の活動状況の点検・評価

今年度の活動についての自己点検・自己評価を行い、今後の課題と対応策をまとめる。

#### (2) 教育委員会事務局の活動状況の点検・評価

優先事項や事業等の今年度の取り組み内容の点検及び課題の整理を行い、自己点検・自己評価を行う。

### 2 学識経験者による外部評価

#### (1) 外部評価委員会

日時 令和5年11月21日 午前10:00から 会場 七ヶ宿町開発センター

#### (2) 外部評価委員

氏 名	高 橋 典 士	年 齢 6 9 歳	柴田町在住
主な経歴	七ヶ宿町立七ヶ宿中学校校長 亙理町立吉田中学校校長 村田町立第二小学校長 宮城県社会教育協会大河原支部委員 ほか		
氏 名	柏 進	年 齢 7 3 歳	七ヶ宿町在住
主な経歴	七ヶ宿町教育委員 七ヶ宿町グラウンド・ゴルフ協会副会長 ほか		

# 点検・評価シート

## 教育委員会の状況点検・自己評価

○教育委員会の会議の現状 (A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

No.	項 目	評 価	課 題・対 応 策 等
1	十分な議論を行える回数や時間を確保しているか。	A	会議では自由に話ができており、回数も十分である。
2	適宜議論ができるよう会議を開催しているか。	A	基本的に会議は月1回であるが、事に合わせて柔軟に行っている。
3	委員が意志決定できるよう十分な情報を事務局が提供しているか。	A	会議資料の提示を求め、十分な情報の提供がある。
4	委員が問題点を指摘し、積極的に発言しているか。	A	各委員とも意見を出し合い、疑問な点は質問しその回答を得ている。
5	七ヶ宿町の教育基本方針についての話し合いがなされているか。	A	毎年1回話し合いを行い、内容について意見を出し合っている。
<b>外部評価者の意見</b>			
今年度も全ての項目でA評価であり、今後も継続を願う。			
会議の内容について、児童生徒の実態や施設の状況、学校の要望等も話題として教育委員と情報共有することも必要ではないか。			

○教育委員会の会議以外の現状

No.	項 目	評 価	課 題・対 応 策 等
1	委員が幼児・児童・生徒及び教職員と接する機会を持っているか。	A	年2回、保育所、小中学校訪問を行い、園児や児童生徒及び教職員の様子を見ながら、給食の試食を行い、学校長等と共通認識を持つよう努めている。
2	教育委員会活動について周知広報しているか、また情報収集に努めているか。	B	教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価結果等についてはホームページで公表しているが、教育委員会活動については、周知広報が足りない。
3	教育課題等についての情報や資料提供したり、近隣の教育委員会や関係機関との連携を図ったりしているか。	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、会議や研修会は人数を制限して開催され、委員が他市町村の委員と連携を図る機会が少なかった。
<b>外部評価者の意見</b>			
教育委員会の情報提供として、積極的に住民にお知らせする方法の検討が必要ではないか。学校教育、社会教育などの取り組みを地域住民に広く知ってもらえるよう工夫されたい。			

# 教育委員会事務局の活動状況・自己点検

事務局

## 1 学校教育

### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

No.	項 目	評価	課題・対応策等
1	新学習指導要領の趣旨を活かした教育課程の編成に取り組む。	B	多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が求められていることから、PDCAによるカリキュラムマネジメントが重要であり、その定着を進めたい。
2	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。	A	学校を主体とした学校運営協議会の基盤が構築され、学校運営協議会が開催された。小中学校では、協議会で掲げた「あいさつと読書活動」の推進を図っている。引き続き、学校・家庭・地域が一体となった協議会の運営を図り、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。
3	保・小・中学校間の連携学習や活動を一層推進する。	B	コロナ禍により、保・小・中学校間の連携学習や活動がまだ十分に実施できていないものもある。保育所・小学校間、小・中学校間の連携学習、交流活動を展開し円滑な連携の充実を図りたい。
4	小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にした学習会を開催する。	A	夏季休業中の寺子屋事業は、机上学習のみではなく体験学習も実施していることから小学生には有益な事業であり継続して実施していきたい。中学生を対象にした学習支援は、GIGAスクール構想の推進による、タブレット活用の順応を図るため、オンラインによる学習支援を継続実施している。生徒個々のレベルにあった学習支援で、学習理解度の向上と、オンラインツールを活用したコミュニケーション能力の向上にもつながっている。引き続き学力の向上を図るとともにICTを使用した学習に備えていくため、学習支援を継続したい。
5	志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。	B	総合的な学習の時間や行事などを利用し地域との連携・協働による実践的な学びを展開している。コロナ禍により多くの学習活動が中止となったが、自主的・自立的に行動する児童生徒の育成に取り組む、活動の成果として小学校では授業参観等で、中学校では総合学習発表会を開催し、保護者に対して実践的な学びの成果を発表する機会を設けた。
6	児童生徒の国際化社会への適応、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。	B	小学校1年生からALTを活用し、外国語活動を取り入れることで外国語に慣れ親しむ教育の推進が図られている。引き続き、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーション能力の向上、中学校の英語授業へのスムーズな接続が図られるよう充実させていく。
7	ICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を活用して分かる授業を展開し、児童生徒の学習意欲の向上を図る。	A	GIGAスクール構想のもと児童生徒1人1台の学習者用端末を、授業はもとより家庭学習や校外学習等での活用も図られた。ICTを活用した授業の充実や、児童生徒の学習理解や意欲にも効果が見られた。引き続きICT機器が効果的に活用されるよう研修を行い、教員のICT活用指導力の向上に努めたい。
8	保・小・中学校等における連続性のある教育実現と積極的に情報を発信し、地域に開かれた信頼される学校を目指すと共に、自慢の学校づくり推進事業の活用による、七ヶ宿ならではの特色ある学校づくりを推進する。	A	自慢の学校づくり推進事業を活用し、小学校は地域の方々に講師に招くなど「地域の支援を柱とした交流」、中学校は行事のボランティアなど「地域への貢献を柱とした交流」が図られ、連続性・系統性のある特色ある教育が推進されている。 小・中学校ともに、児童生徒の活動の様子を情報発信し、小学校はメディアに取り上げられ、中学校は公式facebookを活用し情報発信を行い、地域に開かれ信頼される特色ある学校を目指して取り組んでいる。引き続き、小・中学校における教育活動と共通した活動の展開により、特色ある教育活動に取り組んでいく。

# 教育委員会事務局の活動状況・自己点検

七ヶ宿小学校

## 1 学校教育

### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

No.	項目	評価	課題・対応策等
1	新学習指導要領の趣旨を活かした教育課程の編成に取り組む。	B	教育課程地区研究協議会に参加した教職員が、学習指導要領の趣旨に基づいた各教科の実践等について伝講を行っている。今後も、主体的対話的で深い学びの実現のために取り組むべきことを職員で共有し実践を重ねる必要がある。
2	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。	A	年3回の学校運営協議会を開催し、学校経営方針や教育課程の編成について、委員の方から承認や助言を頂いている。協議会で掲げた目標である挨拶と読書活動について、ある程度の成果が見られているので継続を図る。
3	保・小・中学校間の連携学習や活動を一層推進する。	B	保・小の接続カリキュラムを実践しており、入学児童は入学後スムーズに学校生活に適應している。中学校との教科学習の連携へ向け、相互参観に取り組んでいる。さらなる保小中連携について検討していく必要がある。
4	小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にタブレットを活用したオンラインによる学習支援を行う。	A	寺子屋事業は児童の参加率が高く、夏季休業中の児童の健全育成に大いに寄与していると考えられる。
5	志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。	B	「かかわる」「もとめる」「はたす」の視点での目標を明確にしながら、各教科・行事での指導を継続している。総合的な学習の時間では、授業参観等で保護者に対して児童の学びを発表する機会を作っている。
6	児童生徒の国際化社会への適應、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。	A	3～6年は、英語専科教員とALTの授業を通してコミュニケーション能力の素地を育ててきた。さらに、5・6年では書く活動やタブレットの活用を取り入れ、表現力の向上に取り組んでいる。また、1・2年でも年間35時間の外国語活動を実施し、様々な英語に慣れ親しむ機会を確保している。
7	GIGAスクール構想におけるICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を活用して、分かる授業を展開し児童生徒の学習意欲の向上を図る。	A	各学年の発達段階に応じながらデジタル教科書を活用した授業を展開している。また、タブレット端末導入後は、意見交流や調べ学習の場などで効果的に活用することで、一人一人の学びが深まっている。
8	保・小・中学校等における連続性のある教育実現と積極的に情報を発信し、地域に開かれた信頼される学校を目指すと共に、自慢の学校づくり推進事業の活用による、七ヶ宿ならではの特色ある学校づくりを推進する。	A	自慢の学校づくり推進事業を活用し、地域の人材を活用した学校行事、総合的な学習の時間における様々な体験活動を実施している。令和4年度は、感染症対策を実施したうえで、可能な限り特色ある学校づくりを推進してきた。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
1 確かな学力の育成				
1) 特色ある教育課程の編成と 確実な実施	【地域の特性を踏まえた 教育課程の編成】	A	地域素材を生かした学習、学校行事を計画 することができている。感染症対策を講じな がら、ほぼ予定通りに行事を実施できた。	今後も地域の協力を得ながら児童を育てる 取組を推進する。
2) 指導方法の工夫・改善	【分かる、できる授業の展開】	B	「七ヶ宿小・中学校学習スタンダード」を 意識した授業づくりを進めている。	校内研究で取り組んでいる重点事項を、他 教科にも広げ実践していく。
	【基礎・基本の確実な定着と 探究型学習活動】		総合的な学習の時間では、体験をもとに探 求する学習を展開しているが、机上の調べ学 習で終わる場面がある。	探究型の学習活動を展開していく中で生ま れる疑問や課題の解決方法や情報収集につい て、適切に支援できるように計画していく。
	【少人数を生かした 指導法の工夫】		少人数学級の利を生かして、授業中におけ る実態把握と形成的評価を行っている。	少人数だからこそできる学び合いの在り方 について校内研究を通して実践していく。
	【きめ細かな補充学習の 充実と発展的な学習】		授業内で個に応じながらの指導を展開して いるが、発展的な学習への対応がやや難しい 状況である。	タブレットでのドリル問題等を活用しなが ら、個に応じた指導を展開する。
	【授業改善】		自分で考え判断しながら問題解決できるよ うな授業づくりをさらに推進する必要がある。	授業の相互参観や校内研究を重視しながら 実践力の教員の授業力向上を図る。児童への 問い返しなどを取り入れなら、児童が自ら考 える力を養う。
	【家庭との連携による 家庭学習の習慣化】		「家庭学習の手引き」の活用を通して、家 庭学習の習慣化を図っている。	より一層の習慣化を図るために、週末にも 学年の実態に応じた課題に取り組んでいく。 タブレットのドリル問題の活用を図る。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
2 豊かな心の育成				
	【道徳教育の充実】	A	道徳の時間においては、教科書を軸にした指導計画のもと確実に実践している。	評価の仕方について職員間の共通理解は図られている。教師用図書を活用して、より良い評価方法について研修していく。
	【好ましい人間関係の醸成】		小規模校の良さを生かして、縦割り活動に組み込み、様々な場面で活動している。	今後も、縦割り活動を特色とした活動を継続していく。また、低学年児童が感謝の心を持てるように指導していく。
	【志教育の推進】		すべての教育活動に「志教育でめざす児童の姿」を設定し、教職員が意識して指導を行うことができた。	活動ごとに振り返りの時間を確保するようにしている。
	【キャリア教育の充実】		キャリアパスポートを活用し、1年間の成長を振り返る機会を作った。	年度初めに、児童自身が1年間でのように成長したいかを考える時間を設定する。そのうえで、年度末に自分の成長を振り返ることができるようにする。
	【家庭と連携した基本的生活習慣・規範意識の形成】		保健だより、学校だよりを通して、家庭に「早寝早起き朝ごはん」等の啓蒙を図ってきた。	睡眠時間が少ない児童が増えている。学級だよりも啓発メッセージを掲載していく。
	【生徒指導の校内体制と関係諸機関との連携】		週1回の定例打合せで、生徒指導関係の共通理解を行ってきた。課題のある児童について、関係機関と連携を図ってきた。	情報共有については、タイムリーな話題を共通理解することができており、今後も継続していく。
	【国際理解教育の推進】		外国語、外国語活動の全授業時間で専科教員とALTによるティームティーチングを実施している。	国際理解教育を更に進めるために、授業時間におけるスモールトークを活用して、外国語の文化を紹介する機会を増やす。
	【体験的活動等による豊かな感性と行動力の育成】		様々な体験的な行事を行い、豊かな感性が育まれている。	今後もねらいを明確にして体験的な活動を継続していく。
	【情報教育・環境教育・福祉教育・人権教育の推進】		一人一台導入されたタブレット端末を授業の適切な場面で活用している。	タブレット端末の特性を利用した家庭学習について実践を重ねていく。
	【愛郷心の育成と地域人材の活用】	地域人材のリストを作成しており、適材適所で、地域人材の活用を図っている。また、リストの更新も行っている。	今後も、地域の方々の協力を得て、学校と地域が連携した活動を行っていく。	

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

項目	取組方針	評価	実施状況・課題	対応等
3 健やかな身体の育成				
	【健康・安全教育の充実と食育教育の推進】	A	全校放送による一斉歯磨き指導と栄養教諭による給食メッセージを行っている。	今後も取組を続けていくとともに、家庭への啓蒙も積極的に図っていく。
4 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の展開				
	【特別支援教育の充実のための体制整備】	A	配慮を要する児童について、校内で共通理解が図られている。また、特別支援連携協議会を通して、保・小・中の連携体制もできて	今後も特別支援連携協議会におけるコーディネーター同士の情報共有を密にし、より良い体制整備を図る。
	【特別支援教育の教育課程の編成】		児童個々の特性に基づいた「個別の指導計画」を作成し、指導を進めている。	学期、年間の指導の評価を行い、個別の指導計画の修正をしていく。
	【共に学ぶ場の環境づくり】		交流学級と共に学ぶ時間を最大限に確保している。	今後も児童の実態に応じて、保護者の理解を得ながら交流学級での学びを継続していく。
5 崇高な使命を自覚し指導力ある教職員の育成				
	【教職員の人格の陶冶と指導力の向上】	B	教職員の研修への取組は積極的である。しかし、学校行事を始めとする様々な校務が過密であるため、ゆとりある充実した研修が行えているとは言えない。	行事等のねらいを確認して、本当に必要なものを厳選していく。
	【実践的研究の推進と積極的な授業公開】		指導主事訪問の機会に町内各所・校にも参観を呼び掛け、積極的な授業公開を行った。	今後も可能な限りの授業公開を継続していく。
	【充実した校内研修の計画と実施】		算数科の校内研究が2年になった。少人数なりの学び合いについて、協働による授業づくりをもとにした授業実践を続けている。	全学級担任が実践授業を行い、研究を深めている。PDCAサイクルを意識した研究を進める。
	【関係諸機関を活用した教職員の資質向上】		感染症拡大防止の観点から、外部講師を招いての研修は行わなかった。	本校職員に必要な研修内容を見極めたうえで、関係機関を活用した研修を申し込んでいく。
	【職員評価制度の有効活用】		職員評価制度の実施方法に従って評価を行っている。	教職員一人一人が自分の実践について適確に評価できるよう支援していく。
	【職員コンプライアンスの体制の推進】		4月と10月にコンプライアンスチェックシートの記入を全職員が行い、教頭が面談を実施している。	職員の現状を聞く良い機会となっている。今後も継続する。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
6 学校、家庭、地域の協働による開かれた学校の推進				
	【学校・家庭・地域の役割遂行と相互協力による学校教育の充実】	B	P T A総会、全体会において学校経営方針の説明を行い、家庭との相互協力を推進している。	今後も、学校経営について明確なビジョンを示し、家庭からの協力を促進する。
	【適切な情報提供と説明責任を果たす信頼される学校づくり】		保護者アンケートの実施とその結果の開示等で説明責任を果たしている。	今後も、丁寧な説明を心掛けていく。
	【人的・物的両面にわたる開かれた学校の推進】		年3回の授業参観、各種行事への参観の機会を設定している。	参観するだけでなく、学校行事への保護者参加の機会を増やしていく。
	【P T A活動の活性化】		P T A会員が、積極的に活動できるような行事を計画している。	今後も、P T A役員が中心となり、会員自身が、行事等の企画・立案をしていくことができるように支援していく。
	【地域活動への参画意識の啓発】		PTA地区委員長の保護者のリーダーシップにより、地区子ども会活動の運営が進んだ。	各地区の人数などの実態を踏まえながら、より良く今後も継続していく。
	【地域住民に対する学校の持つ教育機能の活用】		地域の方々の学びが小学校での教育活動に還元されている。それが地域の方々の一つの発表の場となっている。	地域の方々の学校への協力が、地域の方々のやりがいにつながるようにしたい。
	【学ぶ土台づくりの推進】		保小連携として、「ムーブメント教室」を開催している。さらに、保育の様子などを知ること、スタートカリキュラム作りにつながる。	年長組の年度末の取組を知り、入学後の指導に生かせるよう年間計画を立てる。
7 安全・安心で魅力ある学習環境の整備				
	【快適で魅力ある学習環境】	B	各教室のエアコンの活用により、夏場においても快適な学習環境を保つことができている。	特別教室においても同様の環境があれば、より快適な学習環境が整備できる。
	【危機管理マニュアルの整備】		既存マニュアルを活用する場面において、その有効性を確認している。	マニュアルの見直しを行い、より現実的なマニュアルに整備する。
	【地域と連携した安全な環境整備】		日頃の登下校指導、スクールバス乗車指導など、教職員が臨機応変に対応している。より安全な環境整備を図るためには、教職員の負担が増加する。	スクールガード、見守りボランティアのような組織があれば、より安全な環境整備が図られる。
	【学校施設整備の充実】		施設・設備の老朽化に伴う破損・交換等については、適時教育委員会に報告している。	今後も、必要に応じて施設・設備等の要望をしていく。

# 教育委員会事務局の活動状況・自己点検

七ヶ宿中学校

## 1 学校教育

### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

No.	項 目	評価	課題・対応策等
1	新学習指導要領の趣旨を活かした教育課程の編成に取り組む。	A	教育課程編成委員会や研修会を開催し、校長のリーダーシップの下、今年度の学校評価アンケート（保護者・教職員）の反省を基に、次年度の教育課程編成に取り組んだ。評価に関しては、研修会を開催して共通理解を図りながら行った。
2	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。	A	学校運営協議会の開催を年3回実施した。推進フォーラムでは、白川村教育委員会社会教育主事の新谷様を七ヶ宿町にお迎えし、講演、ワークショップ等を対面形式で行った。ワークショップでは地域住民や他校教員も班編成し、「子どもたちをつくる魅力ある学校と地域」について、意見を出し合った。
3	保・小・中学校間の連携学習や活動を一層推進する。	B	保・小・中学校の合同引渡し訓練を実施することができた。一方で例年実施してきた指導主事学校訪問で小・中学校の授業を相互に参観したりする活動を令和4年度もできなかった。今後は通常に戻して、連携の充実を図っていきたい。
4	小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にタブレットを活用したオンラインによる学習支援を行う。	B	中学生を対象としたオンライン学習塾について、受講希望者と指導者との面談を学校で行うなど協力体制を整えることができた。また、不登校生徒への学習支援としても効果があった。
5	志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。	A	まだコロナ禍ではあったが、町外で事業所が職場体験を快く承諾していただき、2年生の職場体験を実施できた。また、3年生の東京修学旅行も実施でき、様々な職業を知見し、自分の将来を考えることができた。総合学習発表会は町内でのコロナ感染が拡大したため中止にした。
6	児童生徒の国際化社会への適応、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。	B	外国語（英語）ではALTを積極的に活用し、「話すこと」に時間をかけた授業展開をすることで、コミュニケーション能力の向上を目指した。また、自慢の学校づくり予算を活用した英語検定受検を推進し、外国語に対する興味・関心を高めた。
7	GIGAスクール構想におけるICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を活用して、分かる授業を展開し児童生徒の学習意欲の向上を図る。	A	GIGAスクール構想端末活用研修会やICT利活用研修会を数回開催していただき、タブレットを活用した授業に方法について学ぶことができた。授業でも積極的に実践し、分かる授業への授業改善につながった。
8	保・小・中学校等における連続性のある教育実現と積極的に情報を発信し、地域に開かれた信頼される学校を目指すと共に、自慢の学校づくり推進事業の活用による、七ヶ宿ならではの特色ある学校づくりを推進する。	A	特色ある学校づくりを推進するために、自慢の学校づくり推進事業を活用した全生徒の漢字検定、英語検定の受検を推奨した。さらに読書推進活動として、生徒一人一冊読みたい本を購入し、心に感動・優しさ・夢などの栄養を貯め、人間性を高める効果をねらいとした活動を行った。また、公式facebookにより、日常の学習の様子を発信し、様々な方から生徒を応援する声をいただいた。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
1 確かな学力の育成				
1) 特色ある教育課程の編成と 確実な実施	【地域の特性を踏まえた 教育課程の編成】	A	コロナ禍ではあったが、職場・生産者訪問、職場体験学習、わらじで歩こう七ヶ宿、スキー教室等、本校ならではの特色ある教育課程を工夫して実施できた。	令和5年度より新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、制限されてきた教育活動を継続するか、新たな行事にしていくかの教育課程の編成をしていく。
2) 指導方法の工夫・改善	【分かる、できる授業の展開】	A	単元学習シートを活用して授業の振り返りを行い、教師が励ましの言葉を記入して基礎・基本の確実な定着を図っている。 数学は全学年TT授業を行い、少人数を生かした指導法の工夫に努めている。また、一人一台のタブレットを活用した、探求型の学習活動を取り入れている。	単元学習シートには、生徒が記入した振り返りを基に教科担任が一人一人に合った励ましやコメントを記入することで、生徒の学習状況の把握と基礎・基本の確実な定着につなげられるように今後も努める。 「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指したICT活用について、職員会議で共通理解を図り、校内研究授業等で実践を積み重ねながら、有効に活用できるように今後も研修を図っていく。
	【基礎・基本の確実な定着と 探究型学習活動】			
	【少人数を生かした 指導法の工夫】			
	【きめ細かな補充学習の 充実と発展的な学習】			
	【授業改善】			
	【家庭との連携による 家庭学習の習慣化】			
		学校だよりや学年・学級通信等から学校での様子を家庭に伝え、学校と家庭が連携して生徒の学力向上につながるようベクトルを合わせていく。		

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

項目	取組方針	評価	実施状況・課題	対応等
2 豊かな心の育成				
	【道徳教育の充実】	A	道徳推進教師を中心に、年間指導計画に基づいて計画的に実施した。また、時間割を調整して担任同士が互いの授業を見合うことができるようにしている。	「道徳ココログノート」を活用して、生徒の意見や感想を累積して、生徒一人一人が自己有用感を実感できるように今後も行っていく。「みやぎの先人集」を年間指導計画にも位置付けて、授業実践と評価を累積していく。
	【好ましい人間関係の醸成】		朝、帰りの会、給食、休み時間、各種行事を利用して、好ましい人間関係が構築できるように取り組んでいる。	
	【志教育の推進】		1年生は町内の職場・生産者訪問、2年生は町外での職場体験を行った。地域の課題について学んだり、働くことの意義について学ぶ機会を得ることができた。	職場体験や地域で働く方の話を聞くことで、キャリア教育の充実を図り、社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度の育成を今後も取り組んでいく。
	【キャリア教育の充実】			
	【家庭と連携した基本的生活習慣・規範意識の形成】		授業参観や教育相談等で来校した際、生徒について情報交換を行い、基本的生活習慣の定着や家庭内での約束等を確認し、生徒の健全育成に取り組むことができた。	非行防止教室の実施やSNSの利用についての啓発活動を行い、生徒、保護者と学校と共通理解を図っていく。
	【生徒指導の校内体制と関係諸機関との連携】		毎月の振り返りを中心に日頃から生徒指導主事や教育相談担当教師が担任と連絡を取り合っている。また、6月までにSCとの面談を実施して生徒支援に当たっている。	生徒の些細な変化や異変に気付くために、常に関係者と連携を図っていく。何かあれば、校長に報告すると同時に、組織で対応していく。
	【国際理解教育の推進】		ALTとの交流や各教科の学習を通して、異文化理解、国際理解を図り、互いの文化を尊重する態度を育成している。	ALTと担当教師との間で共通理解を図りながら今後も授業等に臨んでいく。
	【体験的活動等による豊かな感性と行動力の育成】		1年生の職場・生産者訪問や七ヶ宿PR活動、2年生の南三陸校外学習や町外での職場体験、3年生の東京方面修学旅行を実施することができ、地域の良さや豊かな感性と行動力を育成することができた。	行事のねらいをより明確にし、事前、当日、事後指導を行っていくことで、豊かな感性と行動力の育成を図っていく。
	【情報教育・環境教育・福祉教育・人権教育の推進】		学校花壇の整備や学校敷地周辺の地域清掃を行い、環境整備の関心を高めた。また、NO!ぼっち手紙運動に参加し、社会福祉事業について理解と関心を深めた。	学校評価アンケートを行い、成果と課題を共有して、次年度の計画に生かしていく。
	【愛郷心の育成と地域人材の活用】		開校記念集会では七ヶ宿中学校初代生徒会長のを招いて講話をしていただいた。地域に対する思い等を共有し、愛郷心の育成と地域人材の活用を図っている。	ゲストティーチャーを招くだけでなく、体験学習や地域行事に積極的に参加しながら愛郷心を育むことを今後も実施していく。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
3 健やかな身体の育成				
	【健康・安全教育の充実と食育教育の推進】	A	毎月11日を「安全・防災学習の日」と定め、地震や火災等の非常時の行動について訓練を行い、日頃から意識を高めることができた。	食育教育について、栄養教諭から毎日の献立についての紹介や、訪問の際に講話をいただくことを通して食育教育の充実に努める必要がある。
4 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の展開				
	【特別支援教育の充実のための体制整備】	A	特別支援コーディネーターを中心に職員会議等で情報を共有し、生徒一人一人に合った教育の充実を図っている。	特別支援学級の生徒について、職員の中で共通理解、共通行動をできるようにするとともに、小・中連絡会での情報交換、連携をしっかりと、遺漏のないようにすることが大切である。
	【特別支援教育の教育課程の編成】			
	【共に学ぶ場の環境づくり】			
5 崇高な使命を自覚し指導力ある教職員の育成				
	【教職員の人格の陶冶と指導力の向上】	A	目標達成度評価や資質能力評価等の人事評価シートを活用して、教職員の人格の陶冶と指導力の向上に努めている。	教職経験年数や校務分掌に応じた研修会や研究会に積極的に参加させ、資質向上を今後も図っていく。
	【実践的研究の推進と積極的な授業公開】		七ヶ宿町小・中学校統一の「七ヶ宿町スタンダード」や県の「学力向上に向けた5つの提言」を活用して校内研究のねらいの達成に向けた授業づくりを行っている。	フリー参観週間の実施や、近隣の学校に授業公開の案内等を行い、授業力向上を意識した実践を積極的に行う。
	【充実した校内研修の計画と実施】		県総合教育センターや県大河原教育事務所が実施する研修会等に積極的に参加して、教職員の資質向上を図っている。	年度初めに研修会開催の内容を回覧し、積極的に受講するよう促す。
	【関係諸機関を活用した教職員の資質向上】		学校教育目標の具現化を念頭において、職員評価制度を活用し、教員の資質能力の向上に向けて自己目標の達成に取り組むことができた。	年度当初、中間評価等で校長、教頭との面談を行い、自己目標の達成度を確認していく。教職経験年数や校務分掌に応じた研修会や研究会に参加して、資質向上を図っていく。
	【職員評価制度の有効活用】		上半期、下半期の2回、そして奇数月に行うコンプライアンスチェックシートを活用して、コンプライアンスの体制を整えることができた。	年度当初にマニュアルを配布して周知を図ると同時に、日頃からの意識付けを徹底する。
	【職員コンプライアンスの体制の推進】			

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

項 目	取組方針	評 価	実施状況・課題	対 応 等
6 学校、家庭、地域の協働による開かれた学校の推進				
	【学校・家庭・地域の役割遂行と相互協力による学校教育の充実】	A	校長が掲げる学校教育目標の具現化に向けて、学校、家庭、地域の役割の重要性を確認し、学校教育の充実を図ることができた。	学校評価アンケートを実施し、その成果と課題を公表し、次年度の計画に生かす。
	【適切な情報提供と説明責任を果たす信頼される学校づくり】		年2度の父母教師会総会や授業参観後の全体会、学校だよりや学年・学級通信を通して学校からの説明や情報提供を積極的に行うことで信頼される学校づくりに力を注いだ。	公式Facebookの随時更新や一斉メール配信を含めた適切な情報提供を今後も行う。
	【人的・物的両面にわたる開かれた学校の推進】		コロナ禍で制限がある中でも学校運営協議会の開催や、地域の人材を積極的に活用することで、開かれた学校の推進を図ることができた。	今年度は制限なく、学校行事を行うことで、今後も地域の人材を活用し、地域行事への参加を行っていく。
	【PTA活動の活性化】		保護者の学校への関わりを意識してもらうために、PTA役員、学年委員長合同会議を開催し、PTA活動の活性化に努めることができた。	学校評価アンケートを実施し、その成果と課題を公表し、次年度の計画に生かしていく。
	【地域活動への参画意識の啓発】			
	【地域住民に対する学校の持つ教育機能の活用】		町の行事予定表を職員に回覧し、職員の地域活動への意識を高めると同時に行事への参加を働きかけることができた。	学校評価アンケートから成果と課題を把握し、次年度以降の地域活動への参画を促していく。
	【学ぶ土台づくりの推進】			
7 安全・安心で魅力ある学習環境の整備				
	【快適で魅力ある学習環境】	A	学習情報が校舎内の様々なところで目に入るよう、掲示物を充実させた。	生徒達が目見て関心を高められるような掲示物を作成し、学習環境を整備していく
	【危機管理マニュアルの整備】		毎年、危機管理マニュアルの見直しを図り、職員の周知徹底を図った。	作成するだけでなく、いざという時に使えるようにして、訓練の実施を行いながら改善を図っていく。
	【地域と連携した安全な環境整備】		交通安全教室や非行防止教室の実施など地域と連携した安全・安心の環境づくりを行うことができた。	今後も、地域と連携した取組を行いながら日頃から、安全・安心を意識した生活を取り組ませる。
	【学校施設整備の充実】		管理職の朝・夕方2回の見回り、全職員の月一度の安全点検を実施し、危険個所の早期発見に努めることができた。	生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるようにしていく。

## 教育委員会の活動状況に対する外部評価者の意見

学校教育（優先事項・具体的な施策）
<b>【小学校】</b>
地域素材を活かした学習の取り組みは、大変充実したものであり継続して欲しい。また、自分たちの町を知ることが重要である。白石川の源流「鏡清水」、湯原城跡、ダム管理所、水歴等を視察する等の取り組みをしてはどうか。
学校の実態を地域住民に見てもらえるような「学校開放週間」のようなものを設け、開かれた学校づくりの推進を図られたい。
GIGAスクール構想において、児童全員が使いこなせるよう指導し、授業や家庭学習に効果的に活用されたい。
「地域と連携した安全な環境整備」について、スクールガードや見守りボランティアの組織について検討を進められたい。
移住されてくる人が多くなっている。親同士、子ども同士の交流の場、学校行事をとおして交流できる場を積極的に設けられたい。（地域交流事業に保護者の参加が減っているように感じる）
<b>【中学校】</b>
学力向上に向けて、様々な取り組みをしているところは、少人数ならではの良いところであり、引き続き継続して取り組まれない。
中学生を対象にしたオンライン学習支援については、効果が期待できるので、今後も学校と連携し継続されたい。
部活動の地域移行について、学校、教育委員会、地域と連携し、どのような形が良いか検討し進め、より良い方法で取り組まれない。

## 教育委員会の状況点検・自己評価

### 2 社会教育

#### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

項 目	評価	課題・対応策等
ジュニアリーダー等、町の次代を担う青少年が活躍できる場を多く設け、地域社会の一員であるという自覚と、多様化する時代を生き抜く力を養うための事業展開に努める。	A	新型コロナの影響を受けつつも、感染対策を行いながら従来に近いところまで事業を再構築することができた。多様な経験を積んだ年代が卒業してしまったが、新たにシニア・リーダーとして地域へ貢献することを臨むメンバーを育成することができた。
賑わい拠点施設多目的交流棟「図書コーナー」の積極的な利用を推進し、町民の学習環境の充実と図書の有効活用に努める。	B	新刊を中心に蔵書を増やし、5,000冊に到達した。読書推進事業として読書通帳やスタンプカードを運用しているが、達成した人数が少数となっている。児童・生徒の図書利用が促進されるよう、こ・らっしえの本を学校で返却できるような体制を築くために調整を図っている。
家庭教育は、すべての教育の出発点であることを再認識し、子どもが、基本的な生活習慣や人に対する信頼感、基本的倫理観などを身に付けるために、保護者向けの事業を展開する。	A	コロナ対策を取りながら、親子での調理の講座も実施することができた。親子でのふれあいの場を作りながら、保護者同士の繋がりも作ることができた。参加状況もよく、関心も高いことから、今後も継続していきたい。

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

項目	取組方針	評価	事業名	実施状況・課題	対応等	
1 生涯学習を推進する上での体制整備						
1) 地域の特性を踏まえた生涯学習体制	【特色ある事業計画と評価】	B	社会教育職員の会議及び研修	①社会教育委員の会議 ②社会教育委員研修会 ③大河原教育事務所管内社会教育委員連絡協議会	社会教育委員とともに出席した。	
				社会教育関係職員を対象とした会議の実施及び研修会の参加	新型コロナウイルス感染防止対策として書面決議となる会議及び研修会があった。	
					(社会教育主事研究協議会) 今回の研究テーマは、「元気な団体の秘訣を探る」として、これまでの社会教育事業を調査している。	
	【分館長・分館主事の役割と分館施設の活用】			分館長・分館主事を対象とした会議の実施	町分館長・分館主事会議 ・分館長 7名、分館主事7名	
				分館施設の活用と管理 ・地区ぐるみ講座 ・地区利用(貸館) ・官公署利用(貸館)	・地区ぐるみ講座(干蒲) ・町外在住者の利用制限 ・利用人数制限、時間短縮	
	【図書利用の促進】			図書利用の促進	多目的交流棟なないろ広場に図書コーナーを整備。 ・資料の収集 ・運営の検討 ・子どもの本展示会(県図書)	・利用件数 737件 ・利用冊数 1,123冊 ・収集冊数 269冊 ・蔵書冊数 5,061冊 ・子どもの本展示会 来場数 80名
					町内図書関係機関による担当者打合せ会議及び図書関係職員研修会の開催。	・図書担当者打合せ会 1回
					保育所と小学校に出向き読み聞かせを行う(本読み応援隊ボランティア)	新型コロナウイルス感染防止による中止(〇ボランティア活動の支援)
					読書推進事業 ・読書通帳、スタンプカードの配布	利用件数 ・読書通帳 25枚 ・スタンプカード 26枚

項目	取組方針	評価	事業名	実施状況・課題	対応等
	【社会教育団体の育成・支援】	B	社会教育団体活動への支援	社会教育関係団体の事業を助成 ・町教育推進協議会 ・町文化協会 ・町子ども会育成会 ・すばらしいセツ宿を創る協議会 ・町スポーツ・文化振興会	◆活動は、どの団体も継続している。
			団体活動の促進	サークル団体の育成・支援 ・元気野菜の会 ・ジュニアリーダーサークル ・リズムダンスサークル	◆活動は、どの団体も継続している。 (3団体)
	【学社連携・協働教育の推進】		学社連携・協働教育の推進	協働教育事業会議及び研修会に参加 ・会議(1日) ・研修会(1日) 地域学校協働教育事業の推進 家庭・地域・学校教育の支援体制、協働教育事業の推進(事業は「2特色ある社会教育事業の推進」に記載)	○町教育推進協議会 ○親の学び研修会 ◆継続できる協働教育の環境を実現するため、首長部局や保小中高등학교との連携による教育支援体制づくりを推進した。
			地域人材の活用(学校教育支援)	○地域人材活用事業(協働) ・セツ宿小学校 源流米づくりなど ・セツ宿中学校 職場体験など (自慢の学校づくり補助事業)	◆新型コロナ感染対策のため中止となる事業もあるが、学校の総合の学習を中心に地域の方から協力をもらいながら活用してもらっている。ボランティア活動を広く町内に知らせる等、地域の活性化に役立て、地域人材の交流を続け地域の人の学習力を高めていきたい。
			【ボランティア活動の支援】	ボランティア活動の支援	ボランティア事業の推進 (すばらしいセツ宿を創る協議会) ・ゴミクリーン活動 ・花いっぱい運動 (本読み応援隊) ・本の読み聞かせ(協働)
2)生涯学習情報提供機能の整備	【情報の収集と効率的な発信】	A	情報収集	広報「しちかしゅく」による発信 「公民館だより」	◆毎月の情報を掲載し広く効率よく情報を発信できた。
情報発信			生涯学習情報誌「まめのき」による発信	講座、講演会に関する情報を社会教育施設へ掲示、配布した。	
行事予定表の作成・配布			行事予定表及び調整会議 ・行事予定表の発行	◆関係機関の行事をまとめ全戸配布を行った。	

項目	取組方針	評価	事業名	実施状況・課題	対応等
2 特色ある社会教育事業の推進					
	<p data-bbox="528 488 911 635">【家庭教育事業の推進】</p> <p data-bbox="528 1050 911 1359">【青少年教育事業の推進】</p>	A	<p data-bbox="1003 488 1187 635">未就学児講座</p> <p data-bbox="1003 643 1187 775">親子教室</p> <p data-bbox="1003 783 1187 930">リーダー研修講座</p> <p data-bbox="1003 938 1187 1094">少年の体験活動</p> <p data-bbox="1003 1102 1187 1270">ジュニア・リーダー活動の推進事業</p> <p data-bbox="1003 1278 1187 1359">青少年健全育成活動</p>	<p data-bbox="1209 376 1648 635">○子育て支援講座 ・家庭教育支援講座(協働) 3回 ・親子で人形劇を楽しむ会(協働) ・親子で遊ぶおもちゃワークショップ(協働) ・学ぶ土台づくり事業(宮城県)「親の学び研修会」(協働) ○子を持つ保護者の交流会 ・「ほっほクラブ」(父母等を対象とする交流会)(協働)</p> <p data-bbox="1209 643 1648 775">○親子ふれあい教室 ・親子陶芸教室(協働)</p> <p data-bbox="1209 783 1648 930">○ジュニア・リーダー研修 ・初級研修会(協働) ・中級研修会(宮城県) ・技術研修会</p> <p data-bbox="1209 938 1648 1094">○ジュニアリーダーサークル自主企画事業 ・「ジュニア・リーダーと遊ぼう～」 ①保育所園児との交流(協働) ②クリスマス会(協働・共催) ③冬期間の体験(協働・共催)</p> <p data-bbox="1209 1102 1648 1270">○サークル活動の支援 ・定例会 会 員(18名)</p> <p data-bbox="1209 1278 1648 1359">・県青少年育成指導推進員(2名体制)</p>	<p data-bbox="1671 376 2110 635">◆子育て支援講座は、感染防止対策を徹底し、各種事業に取り組んでいる。コロナ過で家籠りが多いこともあり、参加状況が良く、保護者の関心も高い。 ◆保護者の交流会は、新型コロナ感染防止による中止</p> <p data-bbox="1671 643 2110 775">◆親と子供が参加でき、形として残る講座として好評であった。体験できる講座もニーズが高いことから、町の資源を活かせる内容を組み立てていきたい。</p> <p data-bbox="1671 783 2110 930">◆新型コロナ感染防止対策のため、初級及び中級研修会では、宿泊を取りやめ、会場の変更や研修内容を改編した。ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身につける研修に取り組んだ。</p> <p data-bbox="1671 938 2110 1094">◆新型コロナの発生状況、警戒レベル発令等を踏まえて、感染防止対策を行うことで、事業展開している。参加者からジュニア・リーダーとの交流が楽しく、今後の事業に参加する意識が高い。</p> <p data-bbox="1671 1102 2110 1270">◆ジュニア・リーダーは年々減少しており、1年生の加入が1名に留まった。技術の継承やレベルアップを図り、事業継続を目指していきたい。県子ども会育成会連合会50周年記念式典において団体功労賞を受賞した。</p> <p data-bbox="1671 1278 2110 1359">◆任期は、令和6年度までとなる。</p>

項目	取組方針	評価	事業名	実施状況・課題	対応等
			第74回成人式	○成人式 第1部(式典) ○成人式実行委員会 委員(8名) 4回	◆前年に引き続き青年が中心となり、式典では成人式の運営、企画、制作に取り組んでくれた。新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、実行委員8名により、慎重に進めた。
	【成人教育事業の推進】	B	成人講座	○地区ぐるみ講座(干蒲) ○成人講座 ・七ヶ宿焼体験講座 1回 ・自彊術 1回 ・米袋エコバックづくり講座 1回 ○女性講座 ・お正月飾りづくり講座 1回	◆成人及び女性を対象にした講座は、町内で活動している団体等の協力があり、概ね実現できた。 成人・女性全体では、20代～70代の年齢層で幅広く参加しており、いずれも内容に満足し、作品を製作している。
	【高齢者教育事業の推進】		豊齢者大学	○豊齢者大学・クラブ活動 ①開講式、閉講式 ②ディスコンクラブほか	◆新型コロナウイルス感染防止のため、時間短縮で運営している。ほか、実施できない回もあった。
			NO!ポッチ運動	○高齢者世帯支援会議 (郵便局、小中高学校、社協、役場)手紙運動(136世帯)(協働)	◆児童・生徒による手紙運動、関係機関によるあいさつ運動を行っている。また、手紙を受け取った高齢者が児童・生徒へ返信できる、社会福祉協議会のサポート事業も順調に機能している。
3 芸術文化の振興と文化財の保護・伝承					
	【芸術文化活動の振興】	B	芸術文化	○音楽事業 ・学校音楽祭(協働) ・青少年劇場小公演(後援) ○演劇事業 ・人形劇を楽しむ会(協働) ○一般(実行委員会) ・ふるさとまつり	学校音楽祭は新型コロナウイルス感染防止による中止 ◆音楽事業では、オペラを鑑賞し、本物の芸術に触れることができた。児童、生徒も真剣に聴き入っている様子であった。 ◆演劇事業では、等身大の人形が繰り広げる劇の臨場感に圧倒されたが、終演後の「楽しかったですか」の問いかけに多くの手が挙がっていた。 ◆ふるさと祭りは3年ぶりの開催となり、新型コロナウイルス感染症防止のため半日での開催となった。児童、生徒が多くの好評を得た。
	【文化財の保護・整備】	B	文化財の保護・整備・活用	○文化財保護委員会 2回 ○町指定文化財の保護・活用 ・町指定文化財 5箇所 ○埋蔵文化財の活用 ・小学6年生の授業に出土土器の展示、説明	◆文化財保護委員会で、文化財保護等の協議を進めている。 天然記念物大峰桜は、周辺の環境整備を行い、日当たりと風通しを良くした。また、史跡湯原城跡と古谷館跡は、地区の協力を得て、周辺の環境整備を行った。

項目	取組方針	評価	事業名	実施状況・課題	対応等
	【水と歴史の館の有機的な運営】		特別展の開催	・ひな人形とつるし飾り展 「ORADAZUの雛まつり」	◆町社協・町観光協会・ジュニア・リーダー等との協力を得て開催し、集客を図った。
4 生涯スポーツ推進体制の整備					
	【生涯スポーツ推進体制の推進】	B	生涯スポーツ推進体制の整備	○スポーツ推進委員 5名 ○社会体育推進員 8名 ○スポーツ推進会議 2回	◆スポーツ推進会議で、生涯スポーツ事業について協議を行っている。
	【生涯スポーツ事業の推進】		七ヶ宿総合スポーツ祭	○家庭バレーボール、ボッチャ、卓球バレー ○スポーツ体験会 6回	みやぎヘルシースポーツ祭の終了に伴い、町単独事業として実施した。運動不足解消や、住民同士の交流につなげることができた。
			町民体育大会	○町民体育大会 (実行委員会)	グラウンドコンディション不良による中止
			町長杯グラウンド・ゴルフ大会	○町長杯外グラウンド・ゴルフ大会(後援)	◆新型コロナ感染防止対策を踏まえて実施

## 教育委員会の活動状況に対する外部評価者の意見

### 社会教育（優先事項・具体的な施策）

「図書の利用促進」については、蔵書が5,000冊に達した事は喜ばしい事であるが、利用件数が3年度と比較すると減少している。PRに工夫が必要ではないか。また児童生徒の図書の返却を学校へ出来るよう体制整備を図られたい。

NO！ポッチ運動、七ヶ宿ならではのすばらしい取り組みであり、継続されたい。

ジュニアリーダーの活動について、頑張っている様子が見える。継続されたい。

生涯スポーツの推進について、ヘルシースポーツ祭終了後、町単独で実施している事は評価できる。